



Environment Friendly

Eco Wood Treatment

〈水性粉末木部保護剤〉エコ・ウッド・トリートメント

木のことは、
森に聞いてみようと思いました。

エコ・ウッド・トリートメントは、木の国北欧生まれ、
カナダ育ちの水性粉末木部保護剤。
環境にやさしく、いやな臭いもなく動植物に無害、半永久的耐久性を持つ製品です。
屋外で使われる木材の保護剤として、多様にお使いいただけます。
乾いた木材に塗布するだけで、エコ・ウッド・トリートメントの主成分であるミネラルが浸透し、
腐朽菌の発生を防ぎ、いつまでも丈夫に木材を長持ちさせます。
化学薬品を使った着色剤などと異なり、
天然の素材のみを使って調合しているため、毒性のある成分を含みません。
環境保全と安全性に対する認識が高まっている、
現代のニーズに応える木部保護剤です。

北欧の森が生んだ、水性粉末木部保護材

Eco Wood Treatment

〈水性粉末木部保護剤〉エコ・ウッド・トリートメント

20ℓ用(内容量200g) 塗装処理面積:約75㎡(約23坪) / 4ℓ用(内容量40g) 塗装処理面積:約15㎡(約4.5坪)



天然成分がもたらす、エコ・ウッド・トリートメントのメリット。



メリット
1

自然素材だから安心。

自然素材のみを調合して生産しています。
土の中、水分の中に有毒な成分を一切残さないで、
使用される自然環境、動植物、人体に影響を
及ぼすことなく安心です。
子供のプレイヤードでも安心してご使用いただけます。

写真はエコ・ウッド・トリートメントを塗布した木材でつくられた
池の様子。金魚も水草も元気に育っています。



必要な量だけ使って、残りは長期保存が可能。

粉末を計量して水で溶くだけで準備オケー。
ブラシ、ローラー、スプレー、又はディッピングでの塗布が可能です。
必要に応じて、無駄なく必要な量だけを使うことが出来ます。



一度の施工で効果は半永久的。

塗布した保護成分が木材の内部にまで浸透して効果を発揮します。
木の保護状態、立地、物件にもよりますが、効果は十数年～数十年続くため、塗り直す必要がありません。
一度の塗布で60年以上のメンテナンスフリー利用の実績があります。

施工事例



新潟県 ITOYA CAFE 荒町ラウンジ

閑静な住宅街に建つ、木々や草花に囲まれた三角屋根の素敵なカフェ。エコ・ウッドは匂いや毒性が無いので、住宅街でも安心してお使いいただけます。建物全体の木部に塗布しました。



栃木県 Y様邸

別荘として利用されている住宅室内のアクセントとして、梁や柱に使用していただきました。塗るだけで自然な風合いのエイジング加工を楽しめると共に、耐久性の向上も実現しています。



福井県 やまなみ保育園

園庭をぐるっと囲む木製デッキを駆けまわるのが、子供たちの楽しみ。太陽の光を受け雨風にさらされるデッキ材ですが、木を腐朽菌から守りメンテナンスフリーでご使用いただけます。

Eco Wood Treatment

塗布後の変化は、樹種によって十木十色。

エコ・ウッド・トリートメントは着色用塗料ではなく、
本材に含まれる成分が紫外線に反応して発色します。
顔料が含まれていないため、
着色用塗料に発生する「色むら」が発生しません。
塗布後の変色は、材質、産地、厚さ、湿度、天候などにより異なります。



- 掲載の写真はイメージです。実際の発色は樹種や環境により異なります。
- 使用上の注意に関しては製品パッケージに同梱された製品安全データシート、別紙製品マニュアルをご参照ください。

製造元 Intl Eco Wood Treatment Ltd.
(Canada)



総代理店 ブライトン株式会社
〒141-0021 東京都品川区上大崎 3-3-9-1111
PHONE 03-6456-2203 FAX 03-6456-2204
URL <http://www.brigh-ton.co.jp>





Environment Friendly

Eco Wood Treatment

エコ・ウッド・トリートメント 商品マニュアル

施工に関する注意事項と手順

■ 施工前の確認

乾燥させた木材にお使いください。すでに塗装または加工されている木材には、塗布しても浸透しないため、塗布することはおすすめしていません。無垢の乾燥した木材をおすすめします。



無垢素材のドアや、窓枠などの加工製品については、施工（組立の）過程で接着剤や糊がついている場合があります。そのままエコ・ウッド・トリートメントを塗布すると、ムラになりやすいので、十分にご注意ください。飛び出た接着剤などは、サンダーなどで削ってから塗布してください。



パーティクルボードや合板、化粧板、繊維板(MDF)等は使用できません。塗布後にペンキなどでの塗装は効果が著しく低下するのでおすすめしません。

灰汁の強い樹木は、灰汁抜きをしてから塗布してください。



クヌギ、クリ、ナラなど、灰汁の強い樹木は、エコ・ウッド・トリートメントをそのまま塗布すると、塗布したところから黒く変化する場合があります。1度、水を張ったところで木材をつけて灰汁抜きし、よく乾燥させてからエコ・ウッド・トリートメントを塗布してください。

■ 施工手順.1

塗布する面積を算出します。

エコ・ウッド・トリートメント40gの粉末を4リットルの水で溶き2度塗りすると、およそ15㎡塗布することができます。



塗布すべき面積を0.375で割ると、最低必要なグラム数ができます。このグラム数に0.11をかけると、溶かす水のリットル数ができます。

●20ℓ用(内容量200g) 塗装処理面積:2度塗りで約75㎡(約23坪) ●4ℓ用(内容量40g) 塗装処理面積:2度塗りで約15㎡(約4.5坪)

■ 施工手順.2

エコ・ウッド・トリートメントを水で溶きます。

容器や攪拌具はプラスチックやステンレス製バケツをお使いください。

水道水、イオン交換水や蒸留水などに、エコ・ウッド・トリートメントを塗布面積分溶かします。



溶かす際にエコ・ウッド・トリートメントの粉末を吸い込まない用に注意してください。金属製、アルミ製のバケツなどで作業する場合は、錆などが生じますのでご注意ください。粉末が目や口に入らないように、ゴーグルやマスクなどをつけて作業してください。



ミネラル分の多い井戸水、カルシウムやマグネシウムが多く含まれる硬水を使用することはおすすめいたしません。

■ 施工手順.3

塗る前の準備として溶液がまわりに付着しないようにシートなどを敷いてから作業を行ってください。

塗布する際は、濡れた木材は完全に乾燥させてから塗布してください。

木材全面に塗布してから斑ができないようにローラーか刷毛でゆっくりと丁寧に塗布します。

1度塗りが終わり乾いたら、再度重ね塗りをしてください。

塗り方は、一方向から塗ってください。



ローラーや刷毛で往復塗りしてしまうと、気泡などが入り、斑塗りの原因になってしまいますのでご注意ください。樹脂を多く含む木材は、浸透しにくいので丁寧に塗布してください。

Eco Wood Treatment

エコ・ウッド・トリートメント 商品マニュアル

塗布後の注意事項と色の変化



使用後は、刷毛やローラーなどの道具を水洗いするだけでOKです。
最後は石鹸で手を洗い溶液をしっかりと洗い流してください。



残った粉末は、長期保存ができます。直射日光を避け、光と湿気のない場所で保管をお願いします。
残ってしまった水溶液は保存できませんので、ろ過し水分は下水に流してください。



雨などに濡れても塗布した保護成分は木材内部に浸透しているので、保護効果は失われません。
1度塗れば、効果は木の保護状態、立地、物件にもよりますが、十数年～数十年続き、塗り直す必要がありません。
カナダでは約60年、日本でも約10年の実績があります。



エコウッド・トリートメントには防蟻効果はありません。
防蟻が必要な環境で使用される場合は、防蟻剤と合わせての施工をおすすめします。

■ 「色ムラ」はできません

エコ・ウッド・トリートメントは着色用塗料ではありません。本材に含まれる成分が紫外線に反応して発色する材です。
そのため、着色用塗料を塗布した後に稀に発生する「色ムラ」は、本材には顔料が含まれていないため発生しません。



ただし、赤身や白太といった木肌色は、紫外線反応発色後に天候状況や角度などにより、発色の見え方が変わることがあります。
これを色ムラと間違えないようお願いいたします。

■ 色の変化

エコ・ウッド・トリートメントを塗布した直後の変色は、材質、産地、木の厚み、温度、天候などにより異なります。
樹種で比較すると、スギ、ヒノキ、パイン、赤松といった針葉樹は緑から茶色に変色し、時間が経つとこげ茶へと変わります。
ケヤキをはじめとする広葉樹はグレー掛かった緑から茶色に変化します。
広葉樹は針葉樹に比べて繊維構成が複雑な分、浸透深度も浅くなり発色程度もやや薄い感じになります。

■ 塗布をおすすめする施工場所

木造住宅	木壁	木塀	ログハウス	デッキ	テラス
バルコニー	木造	木橋	案内板	プランター	エクステリア家具

製造元 Intl Eco Wood Treatment Ltd.
(Canada)



総代理店 ブライトン株式会社
〒141-0021 東京都品川区上大崎 3-3-9-1111
PHONE 03-6456-2203 FAX 03-6456-2204
URL <http://www.brigh-ton.co.jp>

